



全波形データ記録 航空レーザー用データレコーダー

RIEGL DR1560



RIEGL DR1560 は、最新式の RIEGL 航空レーザー scanner に付随するデジタルデータレコーダーです。SSD 内蔵の取外し可能なドライブキャリアを3基使用する事で、スムーズなオペレーションができます。

各種のデータインターフェースを装備した DR1560 は、全波形記録式レーザー scanner RIEGL LMS-Q1560、LMS-Q780、並びにオンライン波形分析式 RIEGL V シリーズ レーザー scanner で取得されたデータ保存に最適です。

SSD (Solid State Drives) の使用によって、過酷な環境や高い飛行高度における信頼性が大きくなります。これらのドライブはホットスワップ可能型ですので、既に収集されたデータにすぐアクセスでき、上空で或いはオフィスでの分析の準備ができます。150 Mbytes/秒のデータレートは、現在の装置及び次世代の RIEGL の高速レーザー scanner の要求をカバーする途切れの無いデータ保存を保証します。さらに、オンラインデータ整合チェックがスキャンデータの SSD への転送前に実施されます。

特長

- ・ Solid State Drives (SSD) 3 x 2.5"
- ・ ファイバークラウド高速データインターフェース
- ・ リムーバブル ドライブキャリア
- ・ 10 時間までの航空レーザーデータロギング容量
- ・ インターフェース毎に 150 MByte/秒までのデータレート(入力)
- ・ オンラインデータ整合チェック

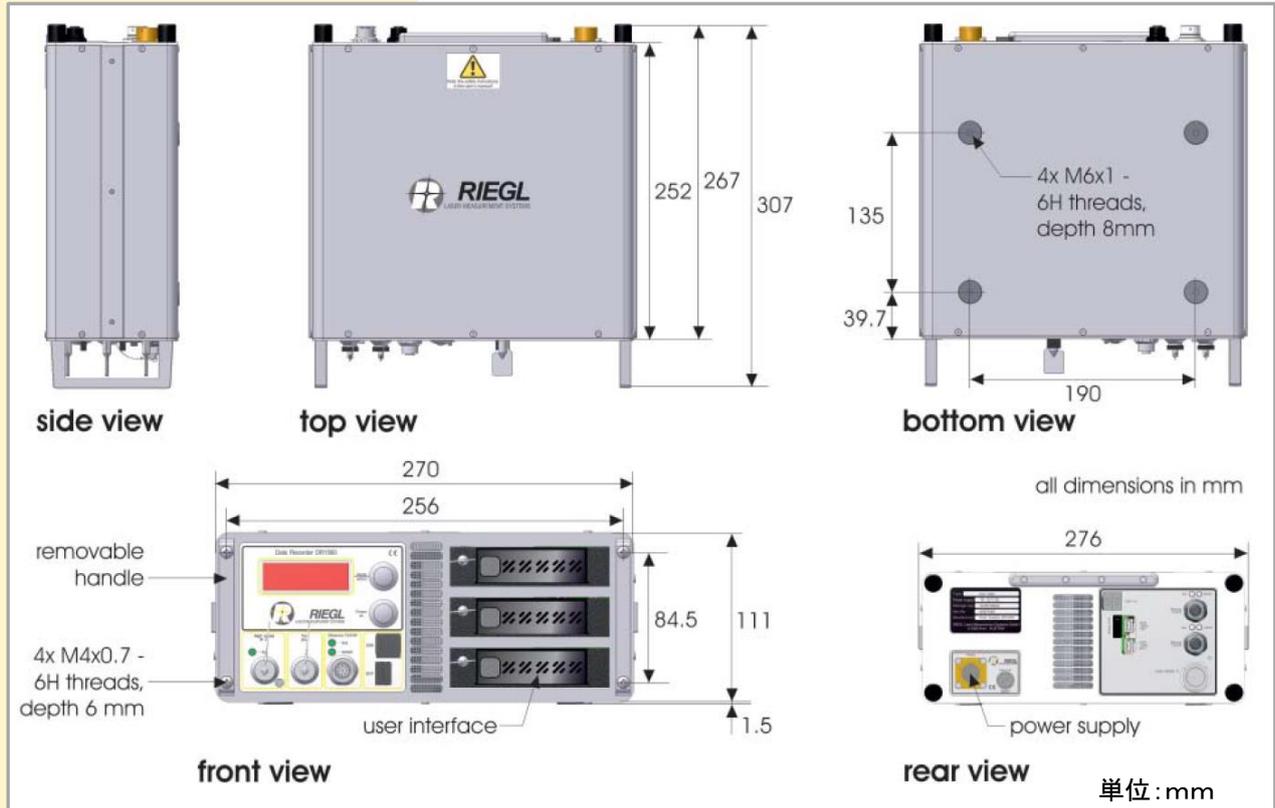


DR1560

RIEGL LMS-Q1560

RIANALYZE

DR1560 寸法図



DR1560 技術データ

データレコーダー性能

記録容量	3 x 512 GByte ³⁾
データレート(入力)	2 x 150 MByte/sec まで
ロギング容量 ¹⁾	標準 10 時間
データレート(出力) ²⁾	300 MByte/sec まで

(1) LMS-Q1560 のレーザーパルス繰り返し周波数 200kHz で、2つのターゲット(200Bytes/測定)、スキャン角 45° の場合。

(2) 最新の PC の SATA インターフェースのある取り付けフレームにリムーバブルディスク
(3) 早い技術変化の為、SSD の記憶容量は本データシート発行の時点の数値と異なる場合があります。

データインターフェース 入力インターフェース

- 1 x 高速シリアルデータリンク
- 1 x SFP (Small Form-Factor Pluggable Transceiver)
- 1 x 独立した 2 チャンネルの高速 光データリンク
- 2 x GigE-LAN
- IEEE 1394b (Fire Wire 800)
- リムーバブルディスクキャリアーの SATA
- GigE-LAN
- USB 3.0

出力インターフェース

一般技術データ

電源入力	18 - 32 VDC
消費流	約 0.8 A@24V DC
主寸法	307 x 276 x 113 mm (L x W x H)
重量	約 6.1kg (3 基のディスクキャリアー含む)
最大飛行高度 (作動中/非作動中)	基準海面より 5,500m (18,000 ft)
温度範囲	0°C ~ +40°C (作動) -10°C ~ +50°C (保管)